

背骨 骨盤を支える急所 重い腰痛 [仙腸関節]を正し

ギックリ腰が続々 画期的新療法 治り医師も驚いた

●住田憲是先生が治療されている望クリニック整形外科は、〒177-0202東京都豊島区雑司が谷二丁目四十一番〇三―三九八六―七八八九です。

鎮痛薬も神経ブロック注射も無効の重い腰痛を続々と治す画期的新療法「AKA」が大評判

望クリニック
整形外科院長
すみ た かすよし
住田憲是

現代医学では腰痛を根治できない

みなさんは、日本人が最も多く悩んでいる体の不調が何かご存じでしょうか。それは、腰痛です。

厚生労働省の平成十六年の「国民生活基礎調査」によれば、なんらかの体の不調を持つ人の中で、男性では腰痛をトップにあげ、女性でも腰痛を二位にあげています。まさに、腰痛は国民病といっても過言ではないでしょう。パソコンに一日じゅう向かう仕事や、ゴルフなど中腰で行うスポーツなどが腰痛の原因といえます。

しかし私は、腰痛の人が増えている一番大きな理由は、病医院の整形外科に適切な治療がないためではないかと、考えています。

きつと、みなさんの多くは、腰痛になっても病医院に行けば、適切な治療を受けられるだ

ろうと思っていることでしょうか。

ところが困ったことに、従来の整形外科では、腰痛をはじめひざ痛、肩こりなど整形外科領域の痛みを、根治することがなかなかできないのです。実際、整形外科で行われている治療の多くは、一時的に痛みを和らげる対症療法でしかありません。

参考までに、現在、病院内一般的に行われている整形外科領域の痛みの治療法を紹介しましょう。

ふつう、症状が比較的軽いうちは、ホットパックで患部を温める温熱療法、コルセットを着する装具療法、マッサージ、腰痛体操などが行われます。

また、痛みを強く訴える場合は、鎮痛薬を服用したり、患部に麻酔剤を注射する神経ブロック療法を行ったりします。

以上のような治療を、数カ月間行います。これらの治療で、中にはよくなる人もいますが、

完全に痛みがなくなるケースはまれです。多くの患者さんは、痛みが消えないことに焦りを募らせ、複数の病医院を転々と移ることにあります。

病名と痛みの原因が一致していない

さて、ひと口に腰痛といっても種類はさまざまで、ギックリ腰、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎

一般的に分類される腰痛の種類

ギックリ腰、腰椎椎間板ヘルニア（腰椎の椎間板から神経がはみ出ている状態）、腰椎すべり症（上下の脊椎がズレている状態）、脊柱管狭窄症（脊柱管が狭くなり中の神経がしめつけられる状態）などがあると一般的にいわれる。



